

杉並が生んだ凶鑑画家の眼

令和元年10月12日(土)～12月15日(日)

前期・10月12日(土)～11月10日(日)

後期・11月12日(火)～12月15日(日)

杉並区立郷土博物館分館 西棟2階展示室

分館 令和元年度区民参加型展示

野鳥

野鳥凶鑑画家・谷口高司と

写真家・西村真一

ふたりが向ける

野鳥へのまなざし

杉並区立郷土博物館分館 西棟1階展示室

令和元年10月12日(土)～12月22日(日)

杉並で見つめつづける写真家の眼



©西村真一



©西村真一



©西村真一



©西村真一

FIELDART/T.Taniguchi
イメージ

後援 | 公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本鳥類保護連盟

開館時間 | 9:00～17:00 会場 | 杉並区立郷土博物館分館 西棟1、2階展示室

観覧料 | 無料 休館日 | 毎週月曜・毎月第3木曜日 ※祝日・休日の場合には翌日が休館



杉並区立郷土博物館
Sugunami Historical Museum

分館

〒167-0032 東京都杉並区天沼 3-23-1 天沼弁天池公園内
お問い合わせ 03-5347-9801

杉並区には現在、約 60 種の野鳥が棲んでいます。スズメやカラス、ハトなど誰でも知っている、見たことのある鳥はもちろん、オオタカやカワセミ、アオゲラなど、東京都や環境省が絶滅危惧種に定める鳥も多く棲息しています。本展ではこれら杉並に棲む野鳥、またかつて棲んでいた野鳥を、野鳥図鑑画家・谷口高司の作品と、写真家・西村真一の写真や所蔵資料をとおして紹介します。絵画と写真という表現のちがいはあれど、ふたりが向けるまなざしには、野鳥へのあたたかな愛情が感じられます。普段なにげなく見ていた野鳥も、ふたりの眼をとおして見ることで、いつもとはちがって見えてくるかもしれません。



①「東京の野鳥 オリジナルフレーム切手・ポストカードセット」(2019年6月、当館蔵) ② J. グールド『大英帝国鳥類図譜』(1862-73年、オランジュリー・コレクション蔵) ③ 安西英明解説・谷口高司絵『新・水辺の鳥』(日本野鳥の会、2013年5月) ④ 安西英明解説・谷口高司絵『新・山野の鳥』(日本野鳥の会、2013年5月)

関連イベント

ギャラリートーク 「博物館内で探鳥会！」

展示資料を解説しながら、杉並に棲んでいる鳥やその特徴、杉並と鳥との関係について紹介します。

10月20日(日) 14:00～16:00

講師 | 西村真一(写真家・元日本野鳥の会理事)

会場 | 1、2階展示室

ワークショップ「意外と知らない?! 鳥のヒミツ」事前申込制

知っているようで意外と知らなかった鳥のディープな話を紹介します。簡単な工作も行います。

10月26日(土) 14:00～15:30

講師 | 岡安栄作(日本鳥類保護連盟)

会場 | 1階展示室

対象 | 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 | 20名(抽選) ※申込締切は10月18日(金) 必着

ばたばたうごく鳥の工作も行います! 参考画像



“タマゴ式”鳥絵塾 山野の鳥 水辺の鳥 事前申込制 有料

野鳥図鑑画家・谷口高司の直接指導で“タマゴ式”の技法を用い、楽しく野鳥のイラストを描きます。参加者全員に缶バッジプレゼント!

講師 | 谷口高司(FIELDART社)

会場 | 1階展示室

対象 | 子供の部: 小学3年生～中学生

大人の部: 大人(高校生以上)

定員 | 各回20名(抽選)

受講費 | 1,000円(画材料含む)

日程 | 11月10日(日) ※申込締切は10月25日(金) 必着

子供の部「メジロを描こう!」 11:00～12:00

大人の部「シジュウカラを描こう!」 13:00～14:00

12月1日(日) ※申込締切は11月15日(金) 必着

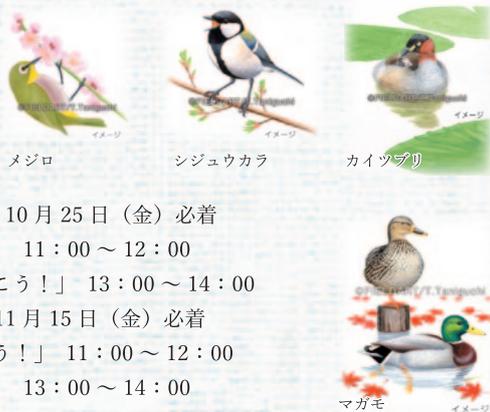
子供の部「カイツブリを描こう!」 11:00～12:00

大人の部「マガモを描こう!」 13:00～14:00

※画材の持ち込み不可。

※小学生の保護者同席はご遠慮いただいております。会場の外でお待ちください。

※イベント中の写真撮影、録音録画は禁止とさせていただきます。



◆イベント申込方法

お申し込みはEメール、FAX、往復はがきにて受け付けております。

※お申し込みの際には、①イベント名、②郵便番号・住所、③氏名(ふりがな)、④年齢、

⑤電話番号(FAXの場合にはFAX番号)をご記入の上、当館までお送りください。

※Eメールでお申し込みの際には、件名を「野鳥展イベント申込」としてください。

Eメール | kyodo-m@city.suginami.lg.jp

令和元年度区民参加型展示

杉並が生んだ図鑑画家の眼

野鳥

杉並で見つめつづける写真家の眼

谷口高司 たにぐち たかし

1947年杉並区善福寺に生まれる。『水辺の鳥』『山野の鳥』(日本野鳥の会)シリーズなど、国内外の野鳥図鑑でまるまる1冊の図版すべてを担当。著書は46冊にのぼる。その執筆活動は世界的な評価を得、1994年にはアメリカのスミソニアン博物館から日本人で初めての指名発注を受け、D.S. リブレイ『インド亜大陸の鳥類』の図版の一部を手掛けた。杉並をはじめ、銀座や新宿、吉祥寺、芦屋、根室、松江などで個展を開催、各地の自然系フェスティバルにも連年出展中。2003年には「谷口高司と野鳥を楽しむ会」を発足。野鳥を描きながら自然保護を広く訴えている。元(財)日本野鳥の会評議員。

西村真一 にしむら しんいち

1953年杉並区阿佐ヶ谷に生まれる。1976年に日本野鳥の会へ入会して以後43年間にわたり、善福寺池を主なフィールドとして野鳥観察と撮影を続け、個展や各メディアにて発表。1982年からは日本野鳥の会東京支部(現日本野鳥の会東京)主催の「善福寺公園探鳥会」を担当し、啓蒙活動にも努める。また、杉並区の公式情報サイト、すぎなみ学倶楽部に「知られざる偉人「中西悟堂さん」」、「杉並の野鳥」を執筆。杉並区発行の『自然観察ガイドブック(2) すぎなみの鳥 全訂版』(2003年11月)では監修を務めた。元(財)日本野鳥の会理事、元日本野鳥の会東京支部長、日本野鳥の会東京幹事、中西悟堂研究家。現在も杉並在住。

◆お問い合わせ

〒167-0032

東京都杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内

TEL | 03-5347-9801

FAX | 03-5347-9802

Eメール | kyodo-m@city.suginami.lg.jp

HP | <http://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

◆アクセス | JR・東京メトロ丸ノ内線荻窪駅

北口から徒歩10分

